

# 「グローバルキャリア人」としての 基本的な資質を育成するための学校づくり(2年次)

～子ども主体の学習スタイルによって価値ある学びを生み出す授業づくり～

主催:神戸大学附属小学校研究会

後援:兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会

明石市教育委員会

子ども主体の学習スタイルへの限らないこだわりと挑戦を提案します

平成23年1月21日(金) 9:00~16:30

8:30	9:00	9:45	9:55	10:55	11:05	12:05	12:50	14:40	14:50	16:20	16:30
受付	挨拶・全体提案	移動	公開学習Ⅰ	移動	公開学習Ⅱ	昼食	リフレクション・領域提案	移動	シンポジウム	閉会	

※公開学習が45分の場合、公開学習Ⅰ9:55~10:40、公開学習Ⅱ11:05~11:50となります

## 公開学習Ⅰ

領域	単元名	単元の概要	学年・組	実践者
数理の探究	ともなって変わる2量の関係を見つけよう	生活の中から伴って変わる2量を見つけ、その関係を表やグラフ、式に表したり、変化の様子や特徴により分類したりすることを通して、比例の関係の特殊性に気づくとともに、関数の見方・考え方を身につけていこうとする子どもの姿をめざします。	5年2組	高橋 隆
自然環境の理解	「静電気」を科学してかしく向き合おう	生活の中に、密接につながっている「静電気」に着目し、科学的に追求していきます。そして、「静電気が発生するしくみ」や「防ぐ術」について、実験から得た自らの考えを「たとえ」を上手く交え表現し、生活の中の「静電気」をみつめなおし、科学の有用性を感じとりながら学び合っていく子どもの姿に迫っていきます。	5年1組	下吉美香
健康生活の創造	「菌」をさぐって暮らしに役立てよう	暮らしの中に多種多様に存在する「菌」に目を向け、それらの性質や効力を培養や観察によってさぐり、「菌」に対するとらえ方を変容させ、「菌」とのよりよい向き合い方を身につけていく子どもの姿に迫っていきます。	6年2組	本所克寿
言語によるコミュニケーション	「磁石の研究」ほうこく文を書こう	自分たちが進めてきた「磁石の研究」について報告文を書くために、言葉の用い方から語と語、文と文のつながり、文章の組み立て方まで、「わかりやすさ」をキーワードに子どもたちが探ります。教材文の言葉にこだわり読み深め、「わかりやすい書き方」を自分の報告文に取り入れようとする子どもの姿に迫ります。	3年1組	高橋祐子
多様な文化の体験と理解	伝統文化から日本のよさを見つめよう	様々な日本の伝統・文化から、広く人々に知られている箏を取り上げます。音色や調べの美しさに出会い、自らの諸感覚を通して伝統や文化のよさにふれ、日本らしさとは何かを考えながら、自文化を大切に、文化の継承者としてのふるまいへと迫る子どもの姿を育んでいきます。	4年1組	金橋智章
豊かな心の育成	ともだちのたからものをたいせつにしよう	友だちの宝物について調べ、その理由やエピソードをもとに、その思いに寄り添おうとする活動を通して、自分とのちがいを受け入れ、他者の思いを大切にしようとする子どもの姿をめざします。	1年2組	馬場智史

## 公開学習Ⅱ

領域	単元名	単元の概要	学年・組	実践者
自然環境の理解	熱の上手な使い方を科学して活かそう	生活の中での「熱と素材との関係」とその「活かされ方」について科学的に追求していきます。子どもたちの生活経験を大切に追求課題を設定し、実験から得たデータにもとづき作成した表やグラフ、モデル等を巧みに活用しながら、生活の中ではたらく科学の有用性を知的に語り合い、高まり合っていく姿に迫っていきます。	4年2組	田中一磨
健康生活の創造	あさごはんのやくわりをしてたべよう	3色栄養の観点から自分の朝ご飯をふりかえるとともに、自分自身の成長や健康を守り、気持ちのいい一日のスタートのための朝ご飯の役割に気づき、バランスのとれた食生活を身につけようとする子どもの姿に迫っていきます。	1年1組	黒田秀子
感性の共有・表現	リズムののって合そうしよう	打楽器の基本的奏法を身につけたうえで、グループごとにリズム創作に取り組みます。お互いの音色や奏法を理解しながら、自分たちの思い描く作品に近づけていこうとする子どもの姿をめざします。	2年2組	阪口雅彦
市民資質の育成	オキナワ2010 ～日本国憲法の理想と現実について考えよう～	日本国憲法の基本理念の一つである「国際平和主義」をめぐる「理想と現実の乖離」について、オキナワの状況を事例として、独り善がりの価値観で判断することなく、平和と民主主義を希求する立場から意味づけを図っていきます。	6年2組	田中雄二
言語によるコミュニケーション	「思わず声になる瞬間」を英語であらわそう	「あ～、おなかすいた・・・」「すごく良い感じ!」「えっ、もうこんな時間!」など、「思わず声になる瞬間」に目を向け、それらを英語で表現していくことに取り組んでいきます。そして、自分たちが思わず使っている言葉を、英語で表現することを通して、英語に親しみ、楽しみながら単元を歩んでいく子どもの姿に迫っていきます。	5年2組	入江佳一郎
	古典で古人と親しもう	子どもたちの古典との出会いをどのように位置づければ、古典に親しむ態度につながるのか。言語によるコミュニケーションという観点から、書かれた言葉から作者への共感や親しみをもつ姿をめざします。	6年1組	坂村昭博
豊かな心の育成	自分のかべとの向き合い方をさぐる	自分の体験やいろいろな人が困難に直面した事例をもとに、その時の向き合い方について考えることを通して、自ら困難に立ち向かおうとする子どもの姿をめざします。	3年2組	川崎和俊

## リフレクション・領域提案

領域	提案内容	研究協力者
数理の探究	「数理」を通して、過去から文化を継承し、現在の生活を見つめ、未来の生活を創造していこうとする子ども。このような子どもを育むため、「陶冶性」「実用性」「文化性」「創造性」の4観点によるバランスのよいカリキュラムと、その具体として単元における価値ある学びを提案していきます。	神戸大学 教授 高橋誠嗣
自然環境の理解	自然とかわりながら、その楽しさ巧みさ、美しさを感じとり自然を愛する心情を育むこと。また、生活の中ではたらく科学・技術の有用性を感じ、課題を科学的に追求する手法やよさをもちいること。そして、人と自然とのあり方を見つめようとする子どもを育むための「単元構築の指針とその可能性」、子ども主体の学習スタイルによって生み出した価値ある学びから導き出した「各年齢における発達過程の詳細」について提案していきます。	神戸大学 教授 蛸名邦禎
市民資質の育成	内容の知(knowing that)と方法の知(knowing how)を活用し、現実社会を構成する(ひと・もの・こと)相互の関係性に支えられた社会認識の形成において対話的相互作用は言葉主義的な学びを越えられるのか、について提案していきます。	神戸大学 教授 今谷順重
多様な文化の体験と理解	グローバル化の進展と、様々な事象におけるボーダーレス化がわれています。異なる文化をもち合わせるもの同士の共生において求められる資質とはどのようなものなのか。文化についての理解が育まれるプロセスとともに提案していきます。	神戸大学 准教授 吉永 潤
健康生活の創造	生活の課題を改善しようとしたり、仲間や家族とともによりよい運動や生活をつくっていこうとしたりして、生涯にわたり、健康で安全な生活を創造していく資質を育むための単元構築の指針と資質の発達段階を提案していきます。	神戸大学 准教授 高田義弘
感性の共有・表現	子どもたちは自分の感性と向き合いながら、表現活動に取り組んでいます。その中で培っていききたい情操、獲得させたい技能、そのバランスをどのように吟味しながら子どもの主体的な学びとして成立させていくのかを、子どもたちの事例を交えて提案していきます。	神戸大学 教授 五味克久
言語によるコミュニケーション	日本語や外国語を用いて、様々な対象や場面に応じ、わかりやすくイメージ豊かな表現をしながら自分の思いや考えを伝えること。言葉で表現されたことを見つめ、内容を正確に理解しながらそこにこめられた思いや考え、表現方法のよさに気づくこと。言葉を用いて伝え合うことのよさを感じ、すすんで伝え合おうとする子どもを育むためのカリキュラムについて提案していきます。	神戸大学 准教授 目黒 強
豊かな心の育成	人間・自然・社会とのかかわりを通して、他者によりよい関係をつくりながら共に生きようとする豊かな心をもった子どもを育むために、実践事例における子どもの姿を根拠としながら、各発達段階で育むべき資質とそのための内容について提案していきます。	神戸大学 准教授 齊藤誠一

## シンポジウム

「知恵」をはたらかせて生きる子どもを育む ～「学校」として「親」としての立場から～

コーディネーター:鹿毛雅治(慶応義塾大学 教授)

シンポジスト:谷口和良(本校OB 神戸松蔭女子学院大学 教授)

水田太郎(本校育友会 会長)

伊藤 篤(本校校長 神戸大学 教授)

坂村昭博(本校研究部 研究部長)

- 参加申し込み方法:平成23年1月11日(火)までに、申し込み用紙をFAXしていただくか、必要事項を明記の上、メールにて送信してください。

FAX:078-914-8150 E-mail:hudev-akashie@edu.kobe-u.ac.jp

※申し込み用紙はHP上からもダウンロードできます。<http://www.edu.kobe-u.ac.jp/hudev-akashie/>

- 参加費:3,000円 ※昼食(1,000円お茶付き)は申込用紙にて事前にお申し込みください。

- 問い合わせ先 神戸大学附属小学校研究会 (担当:坂村昭博)

〒673-0878 兵庫県明石市山下町3-4 TEL:078-912-1642

●会場周辺地図

※JR明石駅より  
東へ徒歩5分

